



平成26年2月26日

写真は学習館棟の二階と三階をつなぐ階段が設置された様子です。子ども達が体育館に向かうときには校舎棟と学習館棟に渡されている空中の横断通路(ブリッジ)を通して学習館棟に入り、こちらの階段を下りて体育館に移動します。このあとに仕上げの工事や手すりが取り付けられていきます。



全体写真を見ると校舎棟・学習館棟ともに外壁を施工する時に設置される足場や安全のための覆いを設置している個所が広い範囲にまで広がり、建物工事が敷地全体で進められている様子が確認出来ます。工事が着手された一年前の写真と比較すると大きく様変わりしてきました。



平成26年1月8日

写真一枚目は全体写真の手前にある学習館棟の工事現場内の様子です。建物内部の断面が確認出来ます。

撮影している場所は建物一階にあたります。このフロアには柴崎学習館のミニギャラリーやスタジオなどが入ります。写真左手の建物南側二階部分と三階部分には学習室などが入ります。



学習館棟は三階建の構造であり、南側部分の外壁は三階まで出来上がってきたため、建物の全体の高さがイメージ出来るようになってきました。今後、学習館棟の三階部分には全体写真奥側にあります小学校棟とをつなぐブリッジ(道路を横断する空中の通路)が取り付けられます。



平成25年12月11日

コンクリート製の壁がクレーンにより運ばれて設置されていきます



手前にあります学習館棟の外観が少しずつ分かるようになってきました



平成25年11月13日

第一小学校工事現場では、工事範囲の拡大に伴い、一台目のクレーンの北側に二台目のタワークレーンが追加されました。



写真の手前側に見える第二校庭部分でも学習館棟の建築作業が進んでいます。以前は見えていた地下部分が鉄板で覆われています。この鉄板に鉄筋を配置してコンクリートで固め、建物の床が作られていきます。



平成25年10月15日

第一小学校工事現場におきまして、一小的在校生を対象に現場体験会を開催しました。

体験会では、現場の作業事務所内で作業員の方からクレーンの役割やしぐみ、地上からクレーンへの指示の出し方について、模型や写真を使いながら分かりやすく説明してもらいました。



作業事務所内での説明のあと、工事現場に向かい、子どもたちが指導員に教えてもらいながら実際にクレーンに向って荷物の吊り上げや移動の指示を行いました。



平成25年9月12日

新たな場所に型枠が設置されました。このあと、型枠の間にコンクリートが注入され、コンクリートが乾燥して固まったら型枠を外していきます。このようにして床や壁などが次々に作られていきます



写真奥側の現場では、新しいタワークレーンを取り付けるための土台が作られています（写真中央部分）。手前の現場では、地下部分を作るための掘削工事に続き、コンクリートの基礎工事が進められています。全体を眺めると、工事の区域が写真左側から右側に広がって来ているのが分かります



平成25年7月26日

鉄筋の骨組みの周囲に型枠を設置し、コンクリート注入の準備をしています



第二校庭では、周囲の地盤を鉄骨で支えながら掘削工事がすすめられています



平成25年6月19日

建物を支えるコンクリート製の基礎梁（きそばり）を作るため、以前に墨出し作業によって位置を決めておいた場所に鉄筋を配置し、梁の骨組みを作る作業を行っています。この鉄筋を組み上げる作業を「配筋（はいきん）」と呼んでいます。

配筋作業を終えると、設計図通りに出来ているのか検査を行います。検査に合格したあと、梁の形を作るために設置されている木製の型枠と鉄筋の間にコンクリートを流し込みます。



第二校庭でも工事が進んでいます。地下に柴崎学習館のホールなどを作るために、建物外側の地面が崩れない様に山留め工事によって壁を作ったあと、ショベルカーによって建物部分の地面を掘り下げる工事を行っています。

工事の途中で地中に埋められていた防火水槽が出てきました。この防火水槽は解体され、小学校側に新しい防火水槽が設置されます。



平成25年6月5日

工事現場にタワークレーンが設置されました。このタワークレーンは高さが約30メートル、重さは50トンになります。操作は1名で行われ、運転室には冷暖房が完備されています。クレーンは最大で8トンの重さの荷物を吊り上げる事が出来ます。



工事敷地内に停めてある乗用車やショベルカーと比較すると、タワークレーンの大きさが良く分かります。
クレーンの色は、屋間に航行する航空機から見分けが付きやすくするため、赤と白に塗り分ける様に決められています。



平成25年5月22日

基礎コンクリートを作る前に、底面を滑らかに整えるために地盤の上にコンクリートを打設します。このコンクリートは建物の構造に影響を与えるものではないため、建築用語では「捨てコンクリート」と呼ばれています。この「捨てコンクリート」の上に、今後建てられる建物の柱や壁の位置を決めて表示して行きます。この表示作業は「墨出し」と呼ばれています。



平成25年5月22日

工事現場にタワークレーンを設置するため、土台の組み立て作業をしています。



平成25年5月15日

建物の基礎を築くための掘削工事が行われています。第一小学校の建築工事では作業車両が出入りする場所や資材を置く場所の確保なども考慮し、工事区域全体を一度に行うのではなく、大きく三か所に分けて進めています。写真では南側（写真左側）から工事が進められているのが分かります。



山留工事で設置された壁や柱によって、掘削された周囲の地盤が支えられている様子が分かります。掘削工事は、深いところで約4m程になります。

写真左側には、道路に隔てられたプールとの行き来に使用した地下通路への階段が見えます。新校舎では、地下通路は校舎の地下に繋がる計画になっています。



平成25年4月9日

山留（やまどめ）工事を行っています。山留工事とは、地下を掘り下げる工事を行った時に、掘った場所の周囲の土砂が崩れ落ちて来ない様に柱や壁などを使い、周りの地盤を支える工事です。写真では土砂を防ぐための壁を支える柱の埋め込みを行っています。



準備工事の中で、タイムカプセルが掘り出されました。このタイムカプセルは、市制50周年記念事業として平成2年に市内の各小中学校で埋設されたものです。カプセルの開封予定は埋設から50年後の市制100周年にあたる平成52年ですので、場所を変えてまた埋め戻す予定になっています。